

“大横浜”に翻弄され続けた「大岡川村」物語（その1）

（人為的に線引きされた“町境”のお話）

港南歴史協議会 長谷川敏雄

① 明治以降の行政区画の変遷（上大岡を例として）

- 幕末～明治 4 年 :江戸時代の村名をそのまま存続
(上大岡村)
 - 明治 4 年～明治 11 年 :大区小区制(村名は一時的に消滅する)[廃藩置県]
(第 2 大区第 3 小区) [上大岡村は通称名!]
 - 明治 11 年～明治 22 年 :郡区町村法により前の村が復活・郡役所を設置
(久良岐郡上大岡村) [笹下村関に]
 - 明治 22 年～明治 44 年 :市制・町村制により町村合併・新町村名命名
(久良岐郡大岡川村大字上大岡)
 - 明治 44 年～昭和 2 年 :大岡川村の一部横浜市に併合
(久良岐郡大岡川村大字上大岡) } 約 40 年 (大岡川村時代)
- 【併合した大字:下大岡・弘明寺・蒔田・堀之内・井土ヶ谷】
- 昭和 2 年～昭和 18 年 :第三次合併により大岡川村の残部も横浜市に併合
(横浜市中区上大岡町)
 - 昭和 18 年～昭和 44 年 :中区から分区して南区になる。
(横浜市南区上大岡町)
 - 昭和 44 年～昭和 50 年 :南区から分区して港南区になる
(横浜市港南区上大岡町)
 - 昭和 50 年～現在 :「住居表示に関する法律」により「小字」消滅する
(横浜市港南区上大岡西一丁目)

② (実例) 「行政区画」に翻弄された「桜岡小学校」の歴史秘話！(上大岡の子供達を例として)

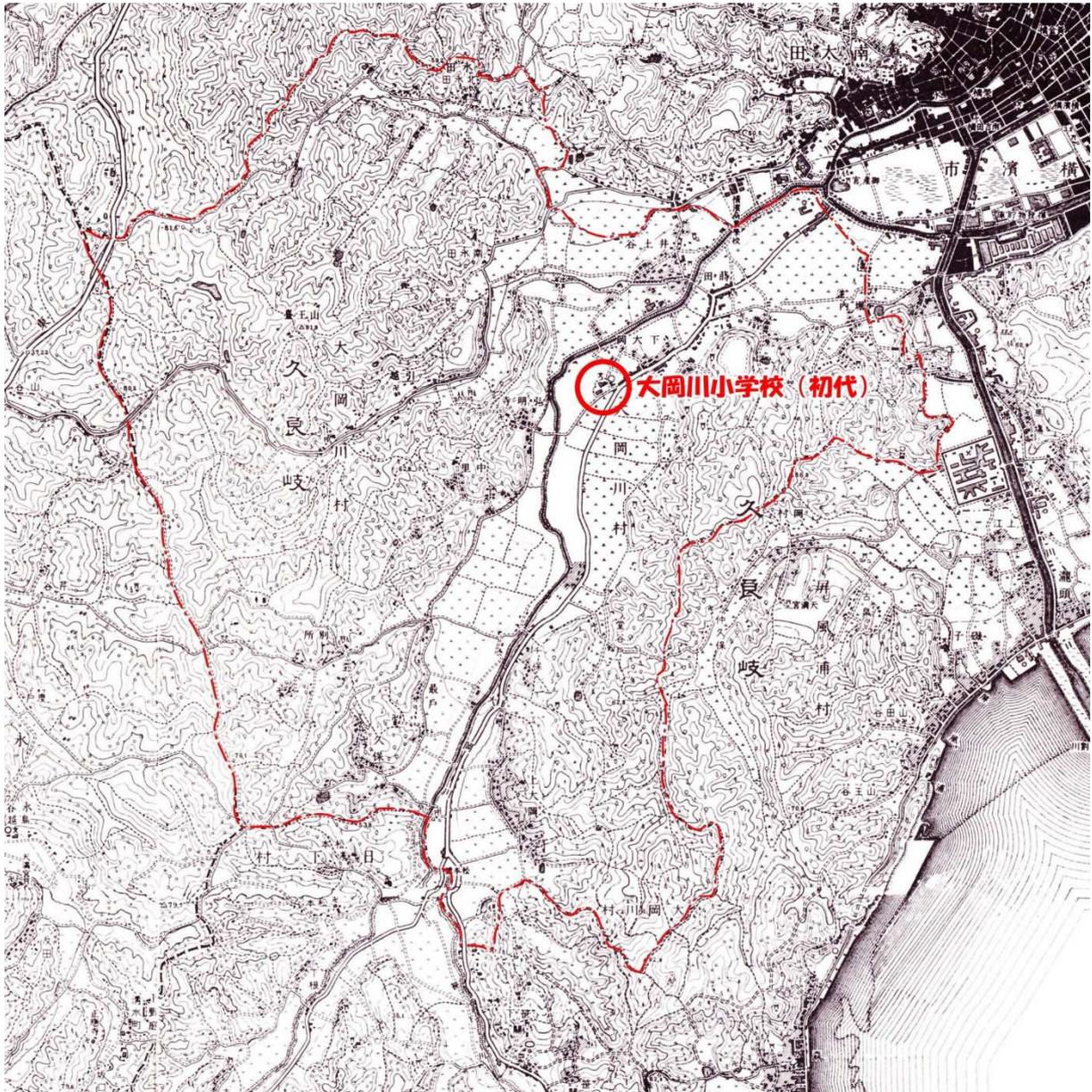
- 明治 6 年 :「最岡学舎」が最戸に開校 →明治 8 年「最戸学校」に校名変更
- 明治 22 年 :「大岡川村公立大岡川学校」が中島に開校
→明治 33 年「久良岐郡大岡川村立尋常高等大岡川小学校」に校名変更
- 明治 45 年 :大岡川村の一部横浜市に併合 今までの校名を継続し、再び
「大岡川村立尋常高等大岡川小学校」として中里(大字)向田(小字)に移転して開校
- 昭和 2 年 :横浜市に併合され「横浜市立尋常高等桜岡小学校」と校名変更
- 昭和 16 年 :「横浜市立桜岡国民学校」に校名変更
- 昭和 17 年 :大久保町(現在地)に新築・移転
- 昭和 19 年 :学童疎開開始
- 昭和 22 年 :「横浜市立桜岡小学校」に校名変更 → 現在に至る

【旧校舎の変遷】（大岡川村が造った“ボロ校舎”の変遷）

- 昭和 18 年 4 月～昭和 23 年 3 月 : 南青年学校（大岡・桜岡・日下・日野・永野の青年学校が合併）
昭和 23 年 4 月～昭和 25 年 8 月 : 港南中学校（昭和 25 年・笹下の現在地に新校舎完成）
昭和 25 年 9 月～昭和 30 年 8 月 : 大岡小学校大岡分校（本校 3300 人で全国第二位）
昭和 30 年 9 月～ : 南小学校として新築・独立（当時横浜一の学校と云われた）

〔「大岡川村」変遷地図〕

① 明治 22 年「大岡川村」発足



【1/2 万地形図「保土谷・戸塚」 明治 39 年測量 参謀本部陸地測量部発行】